

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月6日

上場取引所 東 福

上場会社名 株式会社 はせがわ

コード番号 8230 URL <https://corp.hasegawa.jp/ir/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江崎 徹

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 吉安 大輔 TEL 03-6801-1074

四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

（1）連結経営成績（累計） （％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	8,498	△16.7	324	—	363	—	91	—
2020年3月期第2四半期	10,196	—	15	—	4	—	△30	—

（注）包括利益 2021年3月期第2四半期 139百万円（－％） 2020年3月期第2四半期 △89百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	5.04	—
2020年3月期第2四半期	△1.67	—

（注）当社は、2020年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	17,813	9,046	50.8
2020年3月期	16,896	8,911	52.7

（参考）自己資本 2021年3月期第2四半期 9,046百万円 2020年3月期 8,901百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	3.75	—	—	3.75
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	—	—

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2. 中間配当につきましては、本日（2020年11月6日）公表いたしました「剰余金の配当（中間配当無配）に関するお知らせ」をご参照ください。なお、2021年3月期の期末配当金予想につきましては、未定としております。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,300	△3.4	400	—	450	—	100	—	5.51

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	18,646,376株	2020年3月期	18,646,376株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	495,009株	2020年3月期	508,038株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	18,143,361株	2020年3月期2Q	18,134,836株

(注) 期末自己株式数には、役員向け株式給付信託が保有する当社株式（2021年3月期2Q 172,400株、2020年3月期 185,500株）が含まれております。また、役員向け株式給付信託が保有する株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2021年3月期2Q 180,417株、2020年3月期2Q 189,270株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年4月1日~2020年9月30日)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染拡大に対する各種政策により、個人消費については持ち直しの動きを見せつつあるものの、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループはこのような状況のなか、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、4月7日に7都府県を、また4月16日には全国を対象とした政府からの「緊急事態宣言」発令を受け、4月9日から102店舗と8営業所、本社等、4月21日からは全事業所の臨時休業を実施いたしました(一部機能を除く)。その後、国内の感染状況の推移を注視しながら、5月12日から一部の事業所において部分的に営業を再開(週4日・時短営業)し、「緊急事態宣言」の解除後は、全日営業へと順次切替えを行ない、5月30日からは全事業所において全日営業を再開いたしました。さらに、6月20日からは時短営業も解除いたしました。営業再開や時短営業の解除にあたっては、お客様や従業員の安全に十分配慮しながら予防対策を講じて営業しております。

宗教用具関連業界においては、生活様式や価値観の変化による購入商品の小型化・簡素化、さらにはそれに伴う単価下落の傾向などが継続しております。また、伝統的形式に縛られない「自分らしい」供養のあり方を求める声も増加傾向にあり、多様化するお客様のニーズへの対応が求められております。加えて、一部市場におけるお客様動線の変化に対して、商圈の考え方やそれに伴う店舗立地政策の見直しが求められております。

このような環境変化に対応するため、営業体制におきましては、地域毎の市場・顧客・競争環境に対し、柔軟かつ機動的にマネジメントを実行できるよう、東日本営業部を2営業部制から4営業部制に再編を行ないました。営業活動を完全に再開した7月からは、TVCMや新聞広告、新聞折込チラシなどの販促活動を展開いたしました。そのうち、新聞折込チラシについては全店共通の販促内容・紙面とは別に、地域特性に合わせた紙面を一部営業店に追加で投入するなど、積極的に集客活動も行ないました。今後も引き続き、地域に合わせた営業戦略をもとにその地域のお客様のニーズに応えられるよう販促・商品の品揃えなどを積極的に行なってまいります。

また一方で、ご遺骨の供養を検討されるお客様に対して、墓石及び屋内墓苑の従来からのラインナップに、近年関心が高まっている多種多様な埋葬ニーズ(樹木葬・永代供養墓・海洋葬など)も加えた遺骨供養に関するトータルソリューションの提案を積極的に展開するため、これまで営業部が担当してきた墓石販売の企画立案機能を独立させ、屋内墓苑部の機能と統合した聖石推進部を新設いたしました。

更に、当社のホームページ上でも、6月からのお盆ご準備フェアに併せて、「樹木葬・永代供養墓」に関する相談ページを開設し、事業認知度を上げる集客策を実施して、ご遺骨供養に対する多様なニーズへの対応を目指してまいりました。今後もお客様の価値観や生活様式が目まぐるしく変化が進む環境の中、供養に関連する全ての事業分野において、新しい商品・サービスの開発及びアソートメントの見直しに取り組んでまいります。

また、店舗政策におきましては、百貨店内へ2店舗(6月に東京都豊島区と千葉県船橋市)の新規出店、ショッピングセンター内へ1店舗(5月に埼玉県熊谷市)の移転を実施いたしました。今後も、お客様が最も利用しやすい立地や店舗形態の検討を行ない、移転や統廃合などを推し進めてまいります。

このように、各事業において施策を推進したものの、臨時休業の影響により、売上高は84億98百万円(前年同期比16.7%減)となりました。

経費については、新型コロナウイルス感染症流行の影響により、販売促進を実施できなかったことや従来活動が制限されたことにより、販売費及び一般管理費ともに前年同期を下回ったことにより、営業利益は3億24百万円

(前年同期は営業利益15百万円)、経常利益は3億63百万円(前年同期は経常利益4百万円)となり、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた緊急事態宣言に伴う臨時休業期間中に発生した固定費(人件費2億14百万円、賃借料等設備経費1億円)を特別損失に計上したことと、7月に申請していた新型コロナウイルス感染症に伴う雇用調整助成金等を特別利益(1億97百万円)に計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は91百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失30百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、季節商品の販売などにより商品が1億52百万円、墓石販売に伴う営業保証金の回収により営業保証金が2億29百万円それぞれ減少したものの、社会保険料の納付猶予及び消費税の納税猶予などにより現金及び預金が9億73百万円、販売保証契約に基づく預託により販売保証金が3億46百万円それぞれ増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べて9億16百万円増加し、178億13百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、長期借入金が5億85百万円減少したものの、短期借入金が2億90百万円、社会保険料の納付猶予及び消費税の納税猶予などにより流動負債のその他が9億75百万円それぞれ増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べて7億81百万円増加し、87億66百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益91百万円を計上したこと及びその他有価証券評価差額金が47百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べて1億35百万円増加し、90億46百万円となりました。

当社グループは、自己資本比率を主要な経営指標の目標とし、財務体質の強化に取り組んでおります。

当第2四半期連結会計期間末においては、新型コロナウイルス感染症拡大による政府の緊急事態宣言を受けて運転資金の調達を行なったこと等により、自己資本比率は50.8%（前連結会計年度末は52.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、本日公表いたしました「通期連結業績予想に関するお知らせ」をご参照願います。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,445,334	3,419,095
受取手形及び売掛金	724,125	724,935
商品	3,070,997	2,918,928
その他	320,068	233,786
流動資産合計	6,560,524	7,296,746
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	461,376	449,340
造作(純額)	476,242	465,775
土地	682,189	682,189
リース資産(純額)	174,718	238,545
建設仮勘定	1,327	—
その他(純額)	335,009	324,109
有形固定資産合計	2,130,862	2,159,960
無形固定資産		
391,827		466,494
投資その他の資産		
投資有価証券	319,126	349,915
繰延税金資産	490,390	442,461
退職給付に係る資産	104,387	90,623
営業保証金	4,518,631	4,289,520
販売保証金	1,356,661	1,703,056
差入保証金	1,280,686	1,267,935
その他	251,624	239,713
貸倒引当金	△507,854	△493,099
投資その他の資産合計	7,813,652	7,890,126
固定資産合計	10,336,342	10,516,582
資産合計	16,896,867	17,813,328

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	435,013	457,230
短期借入金	1,430,000	1,720,000
リース債務	78,826	92,039
未払金	602,866	518,461
未払法人税等	45,507	209,284
賞与引当金	273,000	251,000
その他	1,040,203	2,015,793
流動負債合計	3,905,416	5,263,809
固定負債		
長期借入金	3,385,000	2,800,000
リース債務	203,049	246,850
役員株式給付引当金	22,584	21,274
退職給付に係る負債	54,289	39,419
資産除去債務	302,938	313,199
その他	112,460	82,251
固定負債合計	4,080,322	3,502,996
負債合計	7,985,739	8,766,805
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,037,640	4,037,640
資本剰余金	1,583,350	1,583,350
利益剰余金	3,484,838	3,576,414
自己株式	△196,756	△190,403
株主資本合計	8,909,071	9,007,001
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,043	39,521
その他の包括利益累計額合計	△8,043	39,521
新株予約権	10,100	—
純資産合計	8,911,128	9,046,522
負債純資産合計	16,896,867	17,813,328

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	10,196,741	8,498,340
売上原価	3,690,017	3,050,326
売上総利益	6,506,723	5,448,013
販売費及び一般管理費		
販売促進費	627,927	378,305
給料及び賞与手当	2,027,079	1,772,640
賞与引当金繰入額	285,000	184,175
退職給付費用	98,914	98,415
福利厚生費	556,034	475,852
株式報酬費用	4,721	4,542
賃借料	589,966	487,608
その他	2,301,870	1,722,457
販売費及び一般管理費合計	6,491,514	5,123,997
営業利益	15,209	324,015
営業外収益		
受取利息	823	532
受取配当金	6,582	6,585
貸倒引当金戻入額	—	14,755
移動運搬収入	9,871	8,009
受取移転補償金	—	29,826
その他	12,036	16,051
営業外収益合計	29,313	75,760
営業外費用		
支払利息	10,266	16,258
持分法による投資損失	14,992	16,207
貸倒引当金繰入額	4,799	—
固定資産除却損	9,839	1,035
その他	274	2,959
営業外費用合計	40,172	36,460
経常利益	4,350	363,315
特別利益		
固定資産売却益	14,081	—
新株予約権戻入益	33,822	10,100
新型コロナウイルス感染症による雇用調整 助成金等	—	197,609
特別利益合計	47,904	207,710
特別損失		
減損損失	—	38,191
新型コロナウイルス感染症による損失	—	314,730
投資有価証券評価損	3,387	900
特別損失合計	3,387	353,821
税金等調整前四半期純利益	48,867	217,204
法人税、住民税及び事業税	138,084	78,030
法人税等調整額	△58,924	47,597
法人税等合計	79,159	125,628
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△30,292	91,576
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△30,292	91,576

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△30,292	91,576
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△58,800	47,564
その他の包括利益合計	△58,800	47,564
四半期包括利益	△89,092	139,141
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△89,092	139,141
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	48,867	217,204
減価償却費	141,734	116,660
減損損失	—	38,191
新型コロナウイルス感染症による雇用調整 助成金等	—	△197,609
新型コロナウイルス感染症による損失	—	314,730
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,799	△14,755
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,000	△22,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△7,309	△14,869
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	1,128	△1,310
受取利息及び受取配当金	△7,405	△7,118
支払利息	10,266	16,258
売上債権の増減額(△は増加)	△108,256	△810
たな卸資産の増減額(△は増加)	△127,109	150,418
仕入債務の増減額(△は減少)	38,568	22,217
その他	94,396	1,149,293
小計	94,680	1,766,501
利息及び配当金の受取額	8,211	7,922
利息の支払額	△12,697	△15,910
新型コロナウイルス感染症による雇用調整 助成金等の受取額	—	188,381
新型コロナウイルス感染症による損失の 支払額	—	△276,420
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△11,999	34,994
営業活動によるキャッシュ・フロー	78,194	1,705,468
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△82,330	△74,263
有形固定資産の売却による収入	25,892	—
無形固定資産の取得による支出	△49,934	△216,588
営業保証金の支出	△133,147	△155,090
営業保証金の回収による収入	440,655	384,201
販売保証金の支出	△124,903	△326,977
差入保証金の差入による支出	△17,902	△19,202
差入保証金の回収による収入	10,599	18,383
その他	△1,481	1,318
投資活動によるキャッシュ・フロー	67,447	△388,218
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△150,000	500,000
長期借入れによる収入	2,500,000	—
長期借入金の返済による支出	△730,000	△795,000
自己株式の取得による支出	△58	△26
リース債務の返済による支出	△37,878	△42,414
配当金の支払額	△68,363	△42
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,513,699	△337,482
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	△5
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,659,336	979,761
現金及び現金同等物の期首残高	1,515,465	2,383,334
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,174,802	3,363,095

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント(注)1						その他 (注)2	合計	調整額 (注)3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)4
	仏壇仏具・墓石			屋内 墓苑	飲食・ 食品・ 雑貨	計				
	東日本	西日本	計							
売上高										
外部顧客への売上高	7,415,785	2,046,502	9,462,288	533,174	13,733	10,009,196	187,544	10,196,741	-	10,196,741
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	551	551	57	609	△609	-
計	7,415,785	2,046,502	9,462,288	533,174	14,284	10,009,747	187,602	10,197,350	△609	10,196,741
セグメント利益又は損失(△)	348,543	73,938	422,482	167,294	△92,099	497,676	△29,900	467,775	△452,566	15,209

(注) 1. 報告セグメントの「仏壇仏具・墓石」及び「飲食・食品・雑貨」は、小売事業であります。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、仏壇仏具卸売事業などであり
ます。

3. セグメント利益又は損失(△)の調整額△452,566千円は、各セグメントに配分していない全社費用であ
ります。

4. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント(注)1						その他 (注)2	合計	調整額 (注)3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)4
	仏壇仏具・墓石			屋内 墓苑	飲食・ 食品・ 雑貨	計				
	東日本	西日本	計							
売上高										
外部顧客への売上高	6,388,020	1,618,315	8,006,336	261,854	19,958	8,288,148	210,191	8,498,340	-	8,498,340
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	1,110	1,110	133	1,243	△1,243	-
計	6,388,020	1,618,315	8,006,336	261,854	21,068	8,289,258	210,324	8,499,583	△1,243	8,498,340
セグメント利益又は損失(△)	516,189	36,692	552,882	50,615	△51,174	552,323	△16,399	535,924	△211,908	324,015

- (注) 1. 報告セグメントの「仏壇仏具・墓石」及び「飲食・食品・雑貨」は、小売事業であります。
 2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、仏壇仏具卸売事業などあります。
 3. セグメント利益又は損失(△)の調整額△211,908千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。
 4. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、組織再編に伴い、従来「その他」に含めておりました「こころのアトリエ店」を「仏壇仏具・墓石」の「東日本」に含めて表示しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:千円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	仏壇仏具・墓石			屋内 墓苑	飲食・ 食品・ 雑貨	計				
	東日本	西日本	計							
減損損失	-	-	-	-	38,191	38,191	-	38,191	-	38,191